

3 特別会計

(1)国民健康保険(事業勘定)

① 歳 入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	(C/A)	(C/B)
2 2 年 度	15,939,072	18,677,668	15,607,095	344,992	2,725,581	97.9	83.6
2 1 年 度	15,279,988	18,094,325	15,196,999	237,108	2,660,218	99.5	84.0
比較増減	659,084	583,343	410,096	107,884	65,363	△1.6	△0.4
増 減 比	4.3	3.2	2.7	45.5	2.5	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 15,607,095 千円で、予算現額 15,939,072 千円に対し 331,977 千円(2.1%)の減少であり、調定額 18,677,668 千円に対して 83.6%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 410,096 千円(2.7%)の増加となっている。

収入済額の主なものは、国民健康保険税 4,631,158 千円(構成比 29.7%)、国庫支出金 3,984,288 千円(構成比 25.5%)、前期高齢者交付金 2,313,753 千円(構成比 14.8%)及び共同事業交付金 1,663,571 千円(構成比 10.7%)等である。

なお、国民健康保険税には収入未済額 2,725,581 千円(前年比 102.5%)がある。

また、不納欠損額は 344,992 千円(前年比 145.5%)となっている。その主な原因は、生活困窮によるもの、行方不明によるもの等であり、いずれも地方税法等の規定に基づき、適正な手続きにより処理されているものと認められたが、負担の公平を期するうえから、不納欠損額の減少に尚一層の努力を望むものである。

② 歳 出

(単位 千円・%)

区 分	予算現額	支出済額	不 用 額	執 行 率
2 2 年 度	15,939,072	15,071,281	867,791	94.6
2 1 年 度	15,279,988	14,608,987	671,001	95.6
比 較 増 減	659,084	462,294	196,790	△1.0
増 減 比	4.3	3.2	29.3	—

本年度の歳出決算は、支出済額 15,071,281 千円で、予算現額 15,939,072 千円に対し、94.6%の執行率であり、不用額 867,791 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 462,294 千円(3.2%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、保険給付費の中の療養諸費 8,825,590 千円(構成比 58.6%)並びに高額療養費 956,098 千円(構成比 6.3%)、後期高齢者支援金 1,969,908 千円(構成比 13.1%)、共同事業拠出金 1,733,116 千円(構成比 11.5%)及び介護納付金 871,792 千円(構成比 5.8%)等である。

本年度の実質収支額は、535,814 千円で、全額翌年度へ繰越している。

(2)老人保健

① 歳 入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	(C/A)	(C/B)
2 2 年 度	54,200	46,930	46,930	86.6	100.0
2 1 年 度	50,100	54,407	54,407	108.6	100.0
比 較 増 減	4,100	△ 7,477	△ 7,477	△ 22.0	0.0
増 減 比	8.2	△ 13.7	△ 13.7	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 46,930 千円で、予算現額 54,200 千円に対し 7,270 千円(13.4%)の減少であり、調定額 46,930 千円に対して 100.0%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 7,477 千円(13.7%)の減少となっている。

収入済額の内訳は、繰越金 46,129 千円(構成比 98.3%)、諸収入 798 千円(構成比 1.7%)及び支払基金交付金 3 千円(構成比 0.0%)である。

② 歳 出

(単位 千円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2 2 年 度	54,200	46,930	7,270	86.6
2 1 年 度	50,100	8,278	41,822	16.5
比 較 増 減	4,100	38,652	△ 34,552	70.1
増 減 比	8.2	466.9	△ 82.6	—

本年度の歳出決算は、支出済額 46,930 千円で、予算現額 54,200 千円に対し 86.6%の執行率であり、不用額 7,270 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 38,652 千円(466.9%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、償還金の 46,907 千円(構成比 100.0%)及び総務管理費 23 千円(構成比 0.0%)等である。

本年度で制度廃止後の精算が終了したため特別会計は廃止された。

(3)介護保険

① 歳 入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	(C/A)	(C/B)
2 2 年 度	8,002,798	8,060,274	7,984,843	21,394	54,037	99.8	99.1
2 1 年 度	7,411,077	7,480,378	7,408,879	19,700	51,799	100.0	99.0
比 較 増 減	591,721	579,896	575,964	1,694	2,238	△ 0.2	0.1
増 減 比	8.0	7.8	7.8	8.6	4.3	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 7,984,843 千円で、予算現額 8,002,798 千円に対し 17,955 千円(0.2%)の減少であり、調定額 8,060,274 千円に対して 99.1%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 575,964 千円(7.8%)の増加となっている。

収入済額の主なものは、支払基金交付金 2,134,230 千円(構成比 26.7%)、国庫支出金 1,615,985 千円(構成比 20.2%)、介護保険料 1,454,194 千円(構成比 18.2%)、繰入金 1,533,191 千円(構成比 19.2%) 及び県支出金 1,098,092 千円(構成比 13.8%)等である。

なお、介護保険料には、収入未済額 54,037 千円(前年比 104.3%)がある。

また、不納欠損額は 21,394 千円(前年比 108.6%)となっている。その主な原因は、生活困窮によるもの等であり、介護保険法等の規定に基づき適正な手続きにより処理されているものと認められたが、負担の公平を期するうえから、不納欠損額の減少に尚一層の努力を望むものである。

② 歳 出

(単位 千円・%)				
区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2 2 年 度	8,002,798	7,558,175	444,623	94.4
2 1 年 度	7,411,077	7,032,919	378,158	94.9
比 較 増 減	591,721	525,256	66,465	△0.5
増 減 比	8.0	7.5	17.6	—

本年度の歳出決算は、支出済額 7,558,175 千円で、予算現額 8,002,798 千円に対し 94.4%の執行率であり、不用額 444,623 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 525,256 千円(7.5%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、保険給付費 7,014,474 千円(構成比 92.8%)、総務費 281,185 千円(構成比 3.7%)、諸支出金 134,844 千円(構成比 1.8%)及び地域支援事業費 125,299 千円(構成比 1.7%)等である。

本年度の実質収支額は、426,668 千円であり、そのうち 267,950 千円を地方自治法第 233 条の 2 の規定により介護保険給付基金へ繰入し、残り 158,718 千円を翌年度へ繰越している。

(4)後期高齢者医療

① 歳 入

(単位 千円・%)							
区 分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	(C / A)	(C / B)
2 2 年 度	1,068,537	1,059,353	1,042,236	4,738	12,379	97.5	98.4
2 1 年 度	1,063,230	1,062,071	1,050,441	—	11,630	98.8	98.9
比 較 増 減	5,307	△ 2,718	△ 8,205	4,738	749	△1.3	△0.5
増 減 比	0.5	△ 0.3	△ 0.8	皆増	6.4	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 1,042,236 千円で、予算現額 1,068,537 千円に対し 26,301 千円 (2.5%) の減少であり、調定額 1,059,353 千円に対して 98.4%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 8,205 千円 (0.8%) の減少となっている。

収入額の主なものは、後期高齢者医療保険料 760,867 千円 (構成比 73.0%) 及び一般会計繰入金 239,324 千円 (構成比 23.0%) 等である。

なお、後期高齢者医療保険には、収入未済額 12,379 千円(前年比 106.4%)がある。
 今年度より、不納欠損額が発生し 4,738 千円となっている。その主な原因は、生活困窮によるもの等であり、高齢者の医療の確保に関する法律等の規定に基づき適正な手続きにより処理されているものと認められたが、負担の公平を期するうえから、不納欠損額の減少に尚一層の努力を望むものである。

② 歳 出

(単位 千円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2 2 年 度	1,068,537	1,037,632	30,905	97.1
2 1 年 度	1,063,230	1,045,141	18,089	98.3
比 較 増 減	5,307	△ 7,509	12,816	△1.2
増 減 比	0.5	△ 0.7	70.8	—

本年度の歳出決算は、支出済額 1,037,632 千円で、予算現額 1,068,537 千円に対し 97.1%の執行率であり、不用額 30,905 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 7,509 千円(0.7%)の減少となっている。

支出済額の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金 938,871 千円(構成比 90.5%)、総務費 55,359 千円(構成比 5.3%)及び後期高齢者健診事業費 41,099 千円(構成比 4.0%)等である。

本年度の実質収支額は 4,604 千円で、全額翌年度へ繰越している。

(5)墓園やすらぎの森事業

① 歳 入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	収入未済額	(C/A)	(C/B)
2 2 年 度	162,400	138,040	137,963	77	85.0	99.9
2 1 年 度	123,200	126,605	126,573	32	102.7	100.0
比 較 増 減	39,200	11,435	11,390	45	△17.7	△ 0.1
増 減 比	31.8	9.0	9.0	140.6	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 137,963 千円で、予算現額 162,400 千円に対し 24,437 千円 (15.0%) の減少であり、調定額 138,040 千円に対して 99.9%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 11,390 千円(9.0%)の増加となっている。

収入済額の内訳は、使用料及び手数料 74,057 千円(構成比 53.7%)、市債 42,000 千円(構成比 30.4%)及び繰越金 21,906 千円(構成比 15.9%)である。

なお、手数料の墓地管理料に若干の収入未済が生じている。

② 歳 出

(単位 千円・%)				
区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2 2 年 度	162,400	116,865	45,535	72.0
2 1 年 度	123,200	104,668	18,532	85.0
比 較 増 減	39,200	12,197	27,003	△13.0
増 減 比	31.8	11.7	145.7	—

本年度の歳出決算は、支出済額 116,865 千円で、予算現額 162,400 千円に対し 72.0%の執行率であり、不用額 45,535 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 12,197 千円(11.7%)の増加となっている。

支出済額の内訳は、墓園整備事業費 86,898 千円(構成比 74.3%)、総務費 17,851 千円(構成比 15.3%)及び公債費 12,116 千円(構成比 10.4%)である。

本年度の実質収支額は 21,098 千円で、全額翌年度へ繰越している。

(6)与良川水系湛水防除事業

① 歳 入

(単位 千円・%)					
区 分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	(C/A)	(C/B)
2 2 年 度	29,600	30,345	30,345	102.5	100.0
2 1 年 度	38,600	42,640	42,640	110.5	100.0
比 較 増 減	△ 9,000	△ 12,295	△ 12,295	△ 8.0	0.0
増 減 比	△ 23.3	△ 28.8	△ 28.8	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 30,345 千円で、予算現額 29,600 千円に対し 745 千円(2.5%)の増加であり、調定額 30,345 千円に対して 100.0%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 12,295 千円(28.8%)の減少となっている。

収入済額の内訳は、一般会計繰入金 18,207 千円(構成比 60.0%)、繰越金 9,444 千円(構成比 31.1%) 及び分担金及び負担金 2,694 千円 (構成比 8.9%) である。

② 歳 出

(単位 千円・%)				
区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
2 2 年 度	29,600	20,676	8,924	69.9
2 1 年 度	38,600	33,196	5,404	86.0
比 較 増 減	△ 9,000	△ 12,520	3,520	△16.1
増 減 比	△ 23.3	△ 37.7	65.1	—

本年度の歳出決算は、支出済額 20,676 千円で、予算現額 29,600 千円に対し 69.9%の執行率であり、不用額 8,924 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 12,520 千円 (37.7%) の減少となっている。

支出済額の内訳は、与良川排水機場費 13,822 千円(構成比 66.9%)、荒川排水機場費 5,758 千円(構成比 27.8%)及び塩沢排水機場費 1,096 千円(構成比 5.3%)である。

本年度の実質収支額は 9,669 千円で、全額翌年度へ繰越している。

(7) 農業集落排水処理事業

① 歳 入

(単位 千円・%)

区 分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	(C/A)	(C/B)
2 2 年 度	656,430	631,939	614,947	588	16,404	93.7	97.3
2 1 年 度	1,062,500	1,039,186	1,015,768	379	23,039	95.6	97.7
比較増減	△ 406,070	△ 407,247	△ 400,821	209	△ 6,635	△1.9	△0.4
増 減 比	△ 38.2	△ 39.2	△ 39.5	55.1	△ 28.8	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 614,947 千円で、予算現額 656,430 千円に対し 41,483 千円(6.3%)の減少であり、調定額 631,939 千円に対して 97.3%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 400,821 千円(39.5%)の減少となっている。

収入済額の主なものは、一般会計繰入金 377,000 千円(構成比 61.3%)、使用料及び手数料 88,014 千円(構成比 14.3%)、市債 87,600 千円(構成比 14.2%) 及び県支出金 45,150 千円(構成比 7.3%)等である。

なお、収入未済額の内訳は、農業集落排水事業受益者分担金 9,116 千円(前年比 56.4%)、農業集落排水使用料及び手数料 7,288 千円(前年比 106.0%)である。

また、不納欠損額は 588 千円(前年比 155.1%)となっている。その主な原因は、生活困窮によるもの等であり、地方自治法等の規定に基づき、適正な手続きにより処理されていると認められたが、負担の公平を期するうえから、不納欠損額の減少に尚一層の努力を望むものである。

② 歳 出

(単位 千円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
2 2 年 度	656,430	584,286	23,163	48,981	89.0
2 1 年 度	1,062,500	1,011,820	—	50,680	95.2
比較増減	△ 406,070	△ 427,534	23,163	△ 1,699	△6.2
増 減 比	△ 38.2	△ 42.3	皆増	△ 3.4	—

本年度の歳出決算は、支出済額 584,286 千円で、予算現額 656,430 千円に対し 89.0%の執行率であり、翌年度繰越額 23,163 千円、不用額 48,981 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 427,534 千円(42.3%)の減少となっている。

支出済額の主なものは、公債費 323,656 千円(構成比 55.4%)、農業集落排水事業費 124,713 千円(構成比 21.3%)及び総務費の中の施設管理費 109,749 千円(構成比 18.8%) 等である。

なお、翌年度繰越事業は、農業集落排水処理事業費（豊田北東部地区）である。
 本年度の実質収支額は、歳入歳出差引残高 30,661 千円から、翌年度へ繰越すべき財
 源 18,313 千円を差引いた 12,348 千円で、全額翌年度へ繰越している。

(8)公共用地先行取得事業

① 歳 入

(単位 千円・%)					
区 分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	(C/A)	(C/B)
2 2 年 度	40,900	40,847	40,847	99.9	100.0
2 1 年 度	127,900	127,862	127,862	100.0	100.0
比較増減	△ 87,000	△ 87,015	△ 87,015	△ 0.1	0.0
増 減 比	△ 68.0	△ 68.1	△ 68.1	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 40,847 千円で、予算現額 40,900 千円に対し 53 千円 (0.1%) の減少であり、調定額 40,847 千円に対して 100.0% の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 87,015 千円(68.1%) の減少となっている。

収入済額の内訳は、一般会計繰入金 40,841 千円(構成比 100.0%) 及び繰越金 6 千円(構成比 0.0%) である。

② 歳 出

(単位 千円・%)				
区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率
2 2 年 度	40,900	40,841	59	99.9
2 1 年 度	127,900	127,856	44	100.0
比較増減	△ 87,000	△ 87,015	15	△ 0.1
増 減 比	△ 68.0	△ 68.1	34.1	—

本年度の歳出決算は、支出済額 40,841 千円で、予算現額 40,900 千円に対し 99.9% の執行率であり、不用額 59 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 87,015 千円(68.1%) の減少となっている。

支出済額の内訳は、全額公債費である。

本年度の実質収支額は 6 千円で、全額翌年度へ繰越している。

(9)公共下水道事業

① 歳 入

(単位 千円・%)							
区 分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	(C/A)	(C/B)
2 2 年 度	4,977,633	4,991,470	4,920,450	8,757	62,263	98.9	98.6
2 1 年 度	5,780,192	5,817,821	5,742,160	7,760	67,901	99.3	98.7
比較増減	△ 802,559	△ 826,351	△ 821,710	997	△ 5,638	△0.4	△0.1
増 減 比	△ 13.9	△ 14.2	△ 14.3	12.8	△ 8.3	—	—

本年度の歳入決算は、収入済額 4,920,450 千円で、予算現額 4,977,633 千円に対し 57,183 千円(1.1%)の減少であり、調定額 4,991,470 千円に対して 98.6%の収入率である。収入済額を前年度と比較すると 821,710 千円(14.3%)の減少となっている。

収入済額の主なものは、一般会計繰入金 1,445,000 千円(構成比 29.4%)、市債 1,442,200 千円(構成比 29.3%)、下水道使用料及び手数料 1,173,871 千円(構成比 23.9%)及び国庫支出金 693,855 千円(構成比 14.1%)等である。

なお、収入未済額の内訳は、下水道使用料 38,755 千円(前年比 93.5%)、公共下水道受益者負担金 23,488 千円(前年比 88.8%)等である。

また、公共下水道受益者負担金 4,444 千円(前年比 118.3%)、下水道使用料 4,313 千円(前年比 107.7%)が不納欠損となっている。その主な原因は、生活困窮によるもの、行方不明によるもの等であり、都市計画法及び地方自治法等の規定に基づき、適正な手続きにより処理されていると認められたが、負担の公平を期するうえから、不納欠損額の減少に尚一層の努力を望むものである。

② 歳 出

(単位 千円・%)					
区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率
2 2 年 度	4,977,633	4,808,012	61,586	108,035	96.6
2 1 年 度	5,780,192	5,654,010	—	126,182	97.8
比較増減	△ 802,559	△ 845,998	61,586	△ 18,147	△1.2
増 減 比	△ 13.9	△ 15.0	皆増	△ 14.4	—

本年度の歳出決算は、支出済額 4,808,012 千円で、予算現額 4,977,633 千円に対し 96.6%の執行率であり、翌年度繰越額 61,586 千円、不用額 108,035 千円を生じている。支出済額を前年度と比較すると 845,998 千円(15.0%)の減少となっている。

支出済額の主なものは、公債費 2,394,642 千円(構成比 49.8%)、公共下水道建設費 1,628,117 千円(構成比 33.9%)及び総務費の中の施設管理費 617,569 千円(構成比 12.8%)等である。

なお、翌年度繰越事業は、公共下水道事業(扶桑汚水・流域関連汚水)である。

本年度の実質収支額は、歳入歳出差引残高 112,438 千円から、翌年度へ繰越すべき財源 9,036 千円を差引いた 103,402 千円で、全額翌年度へ繰越している。